

今後の牛肉輸出拡大のための活動報告会 2015 開催概要

公益社団法人 中央畜産会

公益社団法人中央畜産会では、平成 26 年度において農林水産省の補助による輸出に取り組む事業者向け対策事業に取り組み、[1] わが国の和牛をジャパンプランドとして確立するための普及啓蒙活動、[2] 今年度輸出が解禁となった新興国に対する牛肉輸出の安定的な拡大を図るために必要な対応方策の検討等に取り組んできました。

今般、日本畜産物輸出促進協議会牛肉輸出促進部会との共催により、下記による活動報告会を開催し、今年度に取り組んだ各種活動状況を報告するとともに、今後の牛肉輸出拡大に向けた取り組みの方向性を話題提供いたします。

◆日 時 平成 27 年 3 月 20 日 (金) 13:00~17:30

◆場 所 TKP 御茶ノ水会議室 大ホール

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 2-3 池坊東京会館 6 階)

◆報告内容 (予定、順番・タイトルは変更になる可能性があります)

[開会にあたって：わが国の牛肉輸出の現状と今後に向けて]

[第 1 部：今年度の牛肉輸出プロモーション活動の成果と課題]

- ① オールジャパンでの牛肉輸出振興の意義
- ② 中央畜産会が実施してきた牛肉輸出振興の取り組みについて
- ③ 和牛統一マークの利用と今後について
- ④ 今年度における欧米を中心とした輸出プロモーション活動の取り組みについて
- ⑤ EU、アメリカの流通・小売状況について
- ⑥ プロモーション活動にみる成果と課題について

[第 2 部：新興国における今後の牛肉輸出拡大に向けた取り組みの方向性]

- ① ベトナムにおける牛肉流通の現状と課題について
- ② フィリピンにおける牛肉流通の現状と課題について
- ③ 両国にみる今後に必要な国内連携の取り組みについて

[第 3 部：今後の牛肉輸出拡大に向けて必要な取り組みについて]

- ・産地が抱える課題の意見交換
- ・円滑な輸出環境の構築にむけて
- ・今後の牛肉輸出拡大の取り組みの方向性について

◇参加料 無 料

[会場内パネル報告] 今年度に本事業で実施した各セミナー開催の様様、各事業者が取り組む和牛統一マークを掲げたプロモーションの様子など